

第三期 福島県医療関連産業高度人材育成プログラム
MBLコース（高度研究開発者ビジネスコース）募集要項 Q&A

Q1：メディカルビジネスリーダー（MBL）とは何ですか。

A1：将来の産業構造下において、自身と仲間を導き、医療機器ビジネスを通して、社会に貢献する人材（起業家や開発責任者等のリーダー）を意味する造語です。

Q2：資格取得はできますか。

A2：MBLは資格ではなく、修了証を授与します。

Q3：受講者選考会とはどのようなものですか。

A3：申込者の中から10名を選定するための会議で、申込者から6分ずつ個人目標をプレゼンしていただき、その後、受講者選考委員から質疑を行います。

Q4：受講者選考会の日程や資料はどのようになりますか。

A4：受講者選考会の日程は、別途申込者へ通知します。選考会では、申込時に提出する個人目標（別紙2）によりプレゼンを行って頂きます。

Q5：受講者選考委員はどのような方ですか。

A5：受講者選考委員は医療機器産業に関係する方を予定しております。

Q6：選考基準はどのような方ですか。

A6：選考にあたっては、提出いただいた書類及び選考会でのプレゼンを評価するほか、本コースの目的を鑑み、希望就職地等を加味する予定です。

Q7：個人目標の内容に指定はありますか。

A7：特に指定はありません。自由に目標を設定し、目標達成に向けた具体的な行動計画を記載して頂きます。

Q9：開講式での発表とは、どのようなことを行いますか。

A9：自由に設定した目標について、本事業推進委員、講師、大学生（MBL発掘コース受講者）、関係機関の方等の聴講者に対し発表頂きます。その他一般の方は聴講しません。

Q10：共同研究（メディカルビジネスラーニング）とは、どのような内容ですか。

A10：3～5人でチームを形成し、研究テーマの検討、コンセプトの設定、ビジネスモデルの検討、プロトタイプ制作までを年間を通して行って頂きます。

Q11：医療機器基礎知識セミナー(公開講座)ではどのようなプログラムに参加できますか。

A11：以下の指定プログラムに参加して頂きます

※今後の調整により変更になる場合があります。

- 平成 30 年 7 月 7 日(土) 循環器系に関する医療機器
- 平成 30 年 7 月 7 日(土) 呼吸器系に関する医療機器
- 平成 30 年 7 月 21 日(土) 脳・神経系に関する医療機器
- 平成 30 年 7 月 21 日(土) 消化器系に関する医療機器
- 平成 30 年 10 月 27 日(土) 診療報酬制度と医療機器に関する保険収載
- 平成 30 年 10 月 27 日(土) 医療機器に関する洗浄・消毒・滅菌
- 平成 30 年 11 月 24 日(土) 医薬品医療機器法
- 平成 30 年 11 月 24 日(土) 医療機器開発に関する規格概論
- 平成 30 年 12 月 8 日(土) 医療機器に関するデザイン
- 平成 30 年 12 月 8 日(土) 医療機器に関するリスクマネジメント

Q12：開発・事業化実務セミナー(非公開講座)ではどのようなプログラムに参加できますか。

A12：以下の指定プログラムに参加して頂きます。

※今後の調整により変更になる場合があります。)

- 平成 30 年 6 月 10 日(日) 医療機器産業の概要
- 平成 30 年 6 月 10 日(日) 医療機器開発とデザイン思考
- 平成 30 年 8 月 25 日(日) ベンチャービジネス概論
- 平成 30 年 8 月 25 日(日) 異業種からの参入事例
- 平成 30 年 9 月 29 日(日) プレゼンテーションの基礎
- 平成 30 年 9 月 29 日(日) プレゼンテーションの実技
- 平成 30 年 12 月 22 日(日) ビジネスモデル作成演習
- 平成 30 年 12 月 22 日(日) 製品仕様書作成演習
- 平成 31 年 1 月 19 日(日) 非臨床試験の概要
- 平成 31 年 1 月 19 日(日) 開発支援体制の概要

Q13：各セミナーはどのような講師が務めますか。

A13：セミナー内容に精通した専門家(医療機器メーカー、ベンチャー、医師、大学教授、関係団体)の方に御講義頂きます。

Q14：医療現場観察ではどのようなことを行いますか。

A14：医療機関内の各室において、医療機器の使用状況や設置状況の確認のほか、医療従事者とのディスカッションを行います。その後、現場のニーズに基づいた研究テーマを設定いただきます。

Q15：短期留学（9月1日～8日）ではどのような成果を得られますか。

A15：Silicon Valley Japan University（シリコンバレー日本大学）が主催する Short Term Programに参加し、以下を身に付けて頂きます。

〔見識力〕自分で考え、自分の意見を持ち、外に向かって発言する力

〔日本力〕日本の優れたところを理解し、まわりに説明する力

〔世界力〕多様性を身に付け、異文化の人と付き合う力

〔T型人間力〕自分の強い専門を持ち、同時に幅広い知識をつける力

〔革新力〕常識にとらわれず前進する力

【前年度参加者の声】

なお、県部長への報告会（9月15日）では、参加者から以下の感想を頂いております。

- 技術力のために学問を修得する重要性を確認できた
- キャリアの考え方を通して日本とシリコンバレーの違いを実感できた
- 年齢や性別、人種の多様性を問わないシリコンバレーの価値観を体感できた
- 自分の目標・気持ちのあり方を見定める有意義な経験であった
- イノベーションのために自分の目標に向かって挑戦したい

Q16：メディカルクリエーションふくしまでの中間発表とはどのようなものですか。

A16：ランチョンセミナーにおいて、チームで行う共同研究（メディカルビジネスラーニング）について、本事業推進委員や来場者に向けてコンセプト等や進捗状況をプレゼンしていただきます。

Q17：閉講式での成果発表とは、どのようなことを行いますか。

A17：開講式で発表した個人目標について、結果がどうだったかを発表頂きます。

また、共同研究の結果がどうだったかをチーム毎に発表頂きます。

聴講者は、本事業推進委員、講師、大学生（MBL発掘コース受講者）、関係機関の方のほか、一般公開で行います。

Q18：プログラムに参加できない場合はどのようになりますか。

A18：プログラムは原則として全て受講頂きます。

医療現場観察、短期留学及び中間発表を欠席した場合には、修了証の授与を行いません。

Q19：代理受講は可能ですか。

A19：個人育成のプログラムですので、代理受講はできません。

Q20：複数年受講することは可能ですか。

A20：本コースを受講された方の再受講はできません。

Q21：費用はどの程度必要ですか。

A21：食費、パスポート取得費用、会場までの交通費となりますが、交通費は自主活動経費を活用できる場合があります。

Q22：自主活動経費はどのような経費が対象となりますか。

A22：対象となる経費は、活動計画に必要な費用で、別紙「MBLコース（高度研究開発者ビジネスコース）自主活動経費助成基準」のとおりです。

なお、受講者選考会に要する経費は対象外となります。

Q23：自主活動経費はどのように支給されますか。

A23：支給の方法については、領収書（又は支払明細書）の原本と別紙「自主活動経費 報告書（〇月分）」を事務局に提出後、精査の上、受講者が指定した口座等へ振り込まれます。（受講者選定後、別途通知に基づき申請書を提出していただきます。）

【注意事項】

※交通費・宿泊費については、社会通念上、必要最低限の場合のみ対象となります。

（例）新幹線を使用する場合は、原則としてグリーン席は対象外となります。

（例）宿泊する場合は、原則としてシングルルームのみ対象となります。

※汎用性のある事務用品は対象外となります。

（例）汎用性のある文房具、PC、USB、一般的なソフトウェア等

※私有車使用に係るガソリン代は対象外となります。